

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	福岡市	計画の名称	道路ストックの適確な維持管理による安全・安心なまちづくり			
計画期間	平成25年度 ～ 平成29年度(5年間)				全体事業費	26,655百万円	国費率	0.55	
交付期間	平成25年度 ～ 平成29年度(5年間)		事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	26,655百万円	国費率	0.55	
1)事業の実施状況	対象事業	要素事業名							
		A.地方道整備事業	(1)多の津内橋線（多の津工区）、(1)千代今宿線（荒戸工区）、(1)千代今宿線（西新工区）、(2)唐人町豊浜線（地行浜工区）、(2)唐人町豊浜線（百道浜工区）、(主)志賀島和白線ほか、(他)三筑3119号線ほか、(2)原田吉塚線ほか（橋梁長寿命化）、(1)千代今宿線ほか（橋梁長寿命化）、(国)263号ほか（橋梁長寿命化）、(主)大野城二丈線ほか（橋梁長寿命化）、(一)入部中原停車場線ほか（橋梁長寿命化）、(1)千代今宿線（興徳寺橋）、(主)福岡直方線ほか、(1)香椎箱崎浜線ほか、(主)博多停車場線ほか、(1)博多駅姪浜線ほか、(他)美和台2975号線（美和台工区）、(他)名島2042号線（名島工区）、(他)舞松原1613号線（舞松原工区）、(他)若宮1773号線（若宮工区）、(他)渡辺通139号線ほか、(1)博多駅姪浜線ほか、(主)大野城二丈線ほか、(一)志賀島循環線（東海岸工区）、(国)263号ほか、(主)福岡早良大野城線ほか、(他)長谷香椎線ほか、(1)千代今宿線ほか						
		B.関連社会資本整備事業							
		C.効果促進事業							
		その他関連する事業							
	進捗状況	要素事業名		事業内容(延長・面積等)		事業進捗(H29年度末予定)			
		A.地方道整備事業	(1)多の津内橋線（多の津工区）	舗装修繕:0.50km	完了				
			(1)千代今宿線（荒戸工区）	舗装修繕:0.48km	完了				
			(1)千代今宿線（西新工区）	舗装補修:1.15km	完了				
			(2)唐人町豊浜線（地行浜工区）	舗装修繕:0.42km	完了				
			(2)唐人町豊浜線（百道浜工区）	舗装修繕:1.45km	完了				
			(主)志賀島和白線ほか	舗装補修:88.00km	整備中				
			(他)三筑3119号線ほか	舗装補修:290.00km	整備中				
			(1)博多駅姪浜線ほか	照明灯整備(LED化) N=35,385基	整備中				
		他25路線							
		B.関連社会資本整備事業							
		C.効果促進事業							
		その他関連する事業							
2)事業の効果発現状況	指標名・算定式		当初現況値(H25年当初)	目標値(H29末)	実績値(H29末予定)	目標値と実績値に差が出た要因			
	成果目標の達成状況	要修繕(わだち掘れ30mm、ひび割れ率30%)延長比率(%)＝ (要修繕(わだち掘れ30mm、ひび割れ率30%)延長)／(総延長)×100	5.0%	3.2%	4.1%	地元調整・関係者との協議に時間を要する箇所が複数あり、H29末時点で要修繕箇所の整備が計画通りできていない。			
		CO2排出量(千トン)＝ (H25当初のCO2排出量)－(1基当たりのCO2削減量×H25当初からの整備基数)	12.4千トン	10.2千トン	10.9千トン	限られた予算の中、同計画において市民の安全にかかわる道路や橋梁の維持管理に重点を置く結果となったため、LEDの整備が計画通りできていない。			
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況(定性的な効果)	・舗装修繕による、道路の長寿命化 ・標識点検による、道路の安全な通行を確保 ・照明灯をLED灯に切り替えることによる、道路の安全な通行を確保。							
	関連社会資本整備事業、効果促進事業の効果発現状況(定性的な効果)	—							
3)その他	今後の事業予定 等		・整備中の路線については、引き続き国の交付金を活用しながら、地元関係者等との協議・調整を図り、早期完了に努める。						

※完了予定については、計画予算が確保された場合の目標であり、事業の進捗状況、財政事情等により適宜見直しを行います。

様式2-2 計画の概要

道路ストックの適確な維持管理による安全・安心なまちづくり

事業の目的	成果指標・算定式	当初現況値 (H25年当初)	目 標 値 (H29末)	実 績 値 (H29末予定)	目標値と実績値に差が出た要因
健全な都市機能を支えてきた幹線道路(舗装や橋梁等)の老朽化が進み、利用者にとっては危険であると共に快適な道路とはいえず、地震や大雨等の災害発生時、また既存道路の維持管理面においても早急な対応が求められている。 また、道路照明灯のLED化を進めることで、消費電力やCO2排出量の削減を図るとともに、劣化による照度低下を抑制し安全に通行することが可能となる。 そのような、既存道路施設等を適確に維持管理することにより、災害に強く、市民の安全と安心が確保されるまちを形成する。	要修繕(わだち掘れ30mm、ひび割れ率30%)延長比率(%)＝ (要修繕(わだち掘れ30mm、ひび割れ率30%)延長)／(総延長)×100	5.0%	3.2%	4.1%	地元調整・関係者との協議に時間を要する箇所が複数あり、H29末時点で要修繕箇所の整備が計画通りできていない。
	CO2排出量(千トン)＝ (H25当初のCO2排出量)－(1基当たりのCO2削減量×H25当初からの整備基数)	12.4千トン	10.2千トン	10.9千トン	限られた予算の中、同計画において市民の安全にかかわる道路や橋梁の維持管理に重点を置く結果となったため、LEDの整備が計画通りできていない。

供用前



供用後



(一)都地姫浜線(橋本1工区)

供用前



供用後



(1)鳥飼藤崎線(鳥飼6工区)

区分	番号	事業種別	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	H29年度末での 供用状況(予定)
					H25	H26	H27	H28	H29		
A. 地方道路整備事業	7A4-1	道路	(1) 多の津内橋線 (多の津工区)	舗装修繕: 0.50km						34	完了
	7A4-2	道路	(1) 千代今宿線 (荒戸工区)	舗装修繕: 0.48km						104	完了
	7A4-3	道路	(1) 千代今宿線 (西新工区)	舗装補修: 1.15km						118	完了
	7A4-4	道路	(2) 唐人町豊浜線 (地行浜工区)	舗装修繕: 0.42km						87	完了
	7A4-5	道路	(2) 唐人町豊浜線 (百道浜工区)	舗装修繕: 1.45km						120	完了
	7A4-6	道路	(主) 志賀島和白線ほか	舗装補修: 88.00km						5,597	整備中
	7A4-7	道路	(他) 三筑3119号線ほか	舗装補修: 290.00km						9,500	整備中
	7A4-21	道路	(1) 博多駅姪浜線ほか	照明灯整備(LED化) N=35,385基	●●●●●●	●●●●●●				1,398	整備中
他25路線											
B. 関連社会資本整備事業				なし							
C. 効果促進事業				なし							
その他関連する事業				なし							

主な事業効果

・(1)多の津内橋線 (多の津工区)、(1)千代今宿線 (荒戸工区)、(2)唐人町豊浜線 (地行浜工区)等における舗装修繕により、要修繕延長比率は5.0%から4.1%に縮減。安全な走行環境を確保。
・(1)博多駅姪浜線ほかの部分的な整備により、LED灯の整備基数が増加し、CO2排出量は12.4千トンから10.9千トンに縮減。

※完了予定については、計画予算が確保された場合の目標であり、事業の進捗状況、財政事情等により適宜見直しを行います。